

回復期リハビリテーション病棟における
入棟日数の変化

研究計画書

医療法人啓清会 関東脳神経外科病院 医事課

研究代表者 若林 沙季

第1版 作成年月日： 2023年5月29日

1.研究名称

回復期リハビリテーション病棟における入棟日数の変化

2.研究実施体制

本研究は以下の体制で実施する。

1.研究責任者	関東脳神経外科病院	医療事務	若林 沙季
2.研究分担者	関東脳神経外科病院	医療事務	鈴木 静香・高橋 愛美
3.個人情報管理者	関東脳神経外科病院	病院長	清水 暢裕

3.研究背景・動機

2022年12月より回復期リハビリテーション病棟における入院基本料を4から3へと変更し、最低アウトカム値が35となった。アウトカム値において入棟退棟FIM値の差と入棟日数が重要となるため、3へあげたことで退院までの入棟日数の変化があったのかを比較することとした。

4.研究目的及び意義

入棟期間を比較することで入棟から退院までのアプローチの見直しを行う。

5.研究の機関及び方法

(1) 研究実施期間

2021年12月1日～2023年5月30日

(2) 研究のアウトライン

後ろ向き研究

(3) 研究の実施方法

回復期リハビリテーション入院料4算定

2021.12.1～2022.11.30（12ヶ月間）

回復期リハビリテーション入院料3算定

2022.12.1～2023.5.30（6ヶ月間）

入棟から退棟までの日数を比較し、どのような変化があったのかを調査する。

(4) 調査項目と試料・情報の収集方法

- ・対象期間内に退院した者の疾患名・年齢・入退棟期間の確認

6.評価項目

- ・脳血管リハビリにおける疾患・年齢別の入退棟期間
- ・リハビリ別入退棟期間

7.研究対象者の選定方法

(1) 選択基準

回復期リハビリテーション病棟を退院した患者様

(2) 除外基準

急性増悪、転院のための転棟、再入棟をした患者様

8.研究の変更、中止

(1) 研究の変更

本研究の研究計画書等の変更または改訂を行う場合は、あらかじめ関東脳神経外科病院倫理委員会の承認および病院長の許可を必要とする。

9 インフォームド・コンセントを受ける手続き等

(1) 研究内容の公開（オプアウト）

目的を含む研究の実施についての情報を関東脳神経外科病院のホームページに掲載すること、また研究員の連絡先を明記することで研究対象者が拒否できる機会を保障する。

(2) インフォームド・コンセント

本研究は後ろ向き研究の為、オプトアウトで対応する。

10.個人情報の取り扱いと匿名化の方法

本研究で取り扱う試料・情報等は、個人情報管理者が匿名化したうえで研究・解析に使用する。

匿名化の方法については、誰の物か一見して判別できないよう、本研究で取り扱う情報から個人識別できる情報を削除し独自の符号を付す作業を行う。

個人情報と符号の対応表は、個人情報管理者が厳重に保管する。また、本研究の成果を学会発表及び論文発表する際には、研究対象者の個人を特定できる情報は一切使用しない。

11. 研究対象者に生じる負担並びに予測されるリスク及び利益、こ

れらの総合的評価並びに当該負担及びリスク最小化する対策

(1) 予測される利益

退院時期の予測と対応・相談等の計画が立てやすくなる。

(2) 予測される危険と不利益

なし

12. 試料・情報の保管及び廃棄の方法

研究対象者の本研究終了後に継続する通常診療において活用される従来の診療情報については、医師法等の関連規則に従い保管する。本研究の実施のため匿名化され取得した研究関連情報については研究責任者の所属する部署の外部から切り離されたコンピュータのハードディスク内に保存する。

情報を取り扱う研究者は、研究情報を取り扱うコンピュータをパスワード管理し、情報の紛失・遺漏等に十分配慮した取扱いのうえで保管を行う。

本研究終了後に置いて、本研究で得られた研究対象者の情報を他の研究において使用することはない。研究責任者は研究終了後、研究等の実施に係るデータおよび文書を研究の中止又は終了後少なくとも5年間、あるいは研究結果発表後3年が経過した日までの間のどちらか遅い期日まで保存する。その後、個人特定されないよう処理したうえで破棄する。なお、通常診療に用いる医療情報の保管・廃棄は医師法等の関連法規の規定に従う事とする。

13. 研究機関への長への報告内容及び方法

- (1) 研究の実施の適正若しくは研究結果の信頼を損なう事実情報を得た場合
研究責任者は、研究の実施の適正若しくは、研究結果の信頼を損なう事実若しくは情報又は損なう恐れのある情報を得た場合は、速やかにその旨を当該病院長へ報告する。

- (2) 研究の倫理的妥当性若しくは科学的合理性を損なう事実等の情報を得た場合
研究責任者は研究の倫理的妥当性若しくは科学的合理性を損なう事実若しくは
情報又は損なう恐れのある情報であって、研究の継続に影響を与えると考えら
れるものを得た場合は遅滞なくその旨を当該病院長へ報告する。
- (3) 研究終了（中止の場合を含む）の報告
研究責任者は研究を終了した時はその旨及び研究の結果概要を文書により病院
長へ報告する。
- (4) 研究に用いる資料及び情報の管理状況
研究責任者は得られた情報等の保管について必要な管理を行い、管理状況につ
いて病院長へ報告する。

14.研究の資金源等、研究機関の研究に係る利益相反及び個人の

収益等、研究者等研究に係る利益相反に関する状況

- (1) 研修資金
なし
- (2) 利益相反
なし

15.研究に関する情報公開の方法

本研究の成果は病院内発表・国内学会発表を予定している。

16.研究対象者及びその関係者からの相談等の対応

研究対象者等及びその関係者からの相談については、以下の相談窓口において
対応する。

【相談窓口】

研究責任者

関東脳神経外科病院 医療事務 若林 沙季

〒360-0804

埼玉県熊谷市代 1120

TEL : 048-521-3133

17. 委託業務内容及び委託先の監督方法

本研究に委託業務はない

18. 使用文献

なし